

御嶽山の火山活動解説資料（平成 22 年 9 月）

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成 20 年 3 月 31 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動状況

・噴気など表面現象の状況（図 1、図 3※-①）

長野県が王滝村滝越（剣ヶ峰の南南西約 6 km）に設置している監視カメラでは、地獄谷の噴気孔でごく弱い噴気が時々観測されました。三岳黒沢（剣ヶ峰の南東約 14 km）に設置している遠望カメラでは、山頂付近で噴気は観測されませんでした。

・地震や微動の発生状況（図 3※-②③、図 4※）

火山性地震の発生回数は少なく、地震活動は静穏に経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図 3※-④⑤⑥）

GPS 連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められませんでした。



図 1 御嶽山 山頂部の状況
(9 月 11 日 三岳黒沢遠望カメラによる)

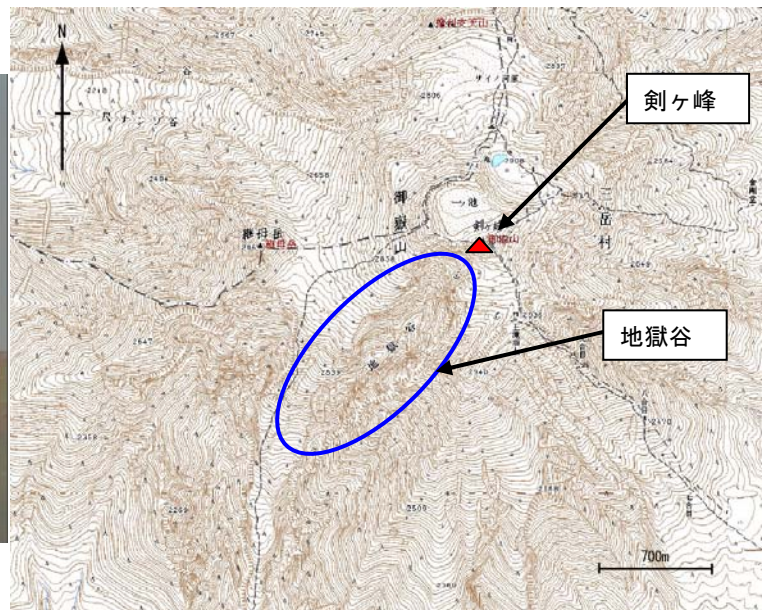


図 2 御嶽山 噴気孔（地獄谷）位置図

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 22 年 10 月分）は平成 22 年 11 月 9 日に発表する予定です。

※この記号の資料は気象庁のほか、東京大学、京都大学、名古屋大学、独立行政法人防災科学技術研究所、長野県及び岐阜県のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 25000（地図画像）』『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 20 業使、第 385 号）。

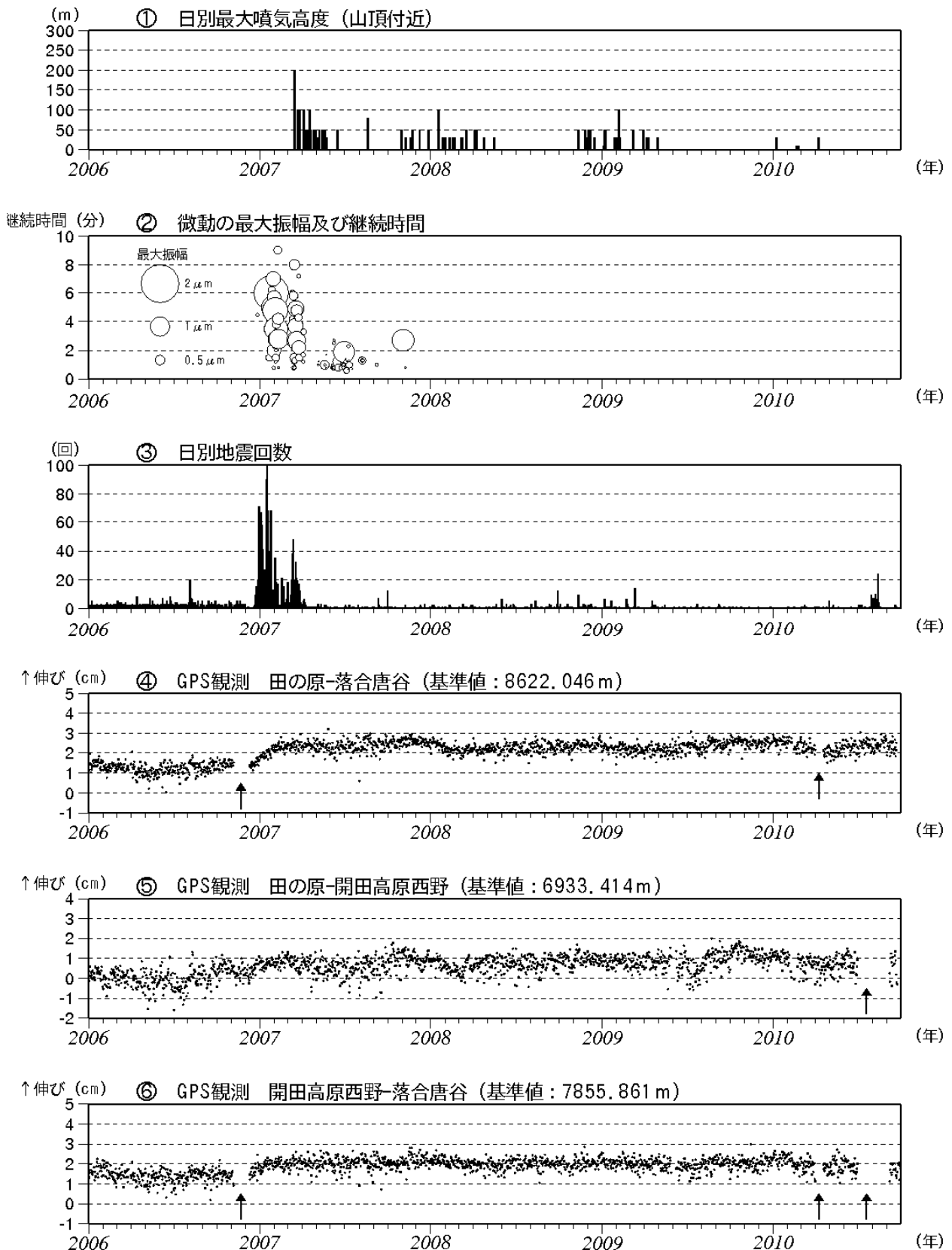


図 3※ 御嶽山 最近の火山活動の推移 (2006 年 1 月 1 日~2010 年 9 月 30 日)

① 定時観測 (09 時・15 時) による日別最大噴気高度
 図中④~⑥は図 5 の GPS 基線④~⑥に対応しています。
 図中④~⑥の矢印は欠測を示す。

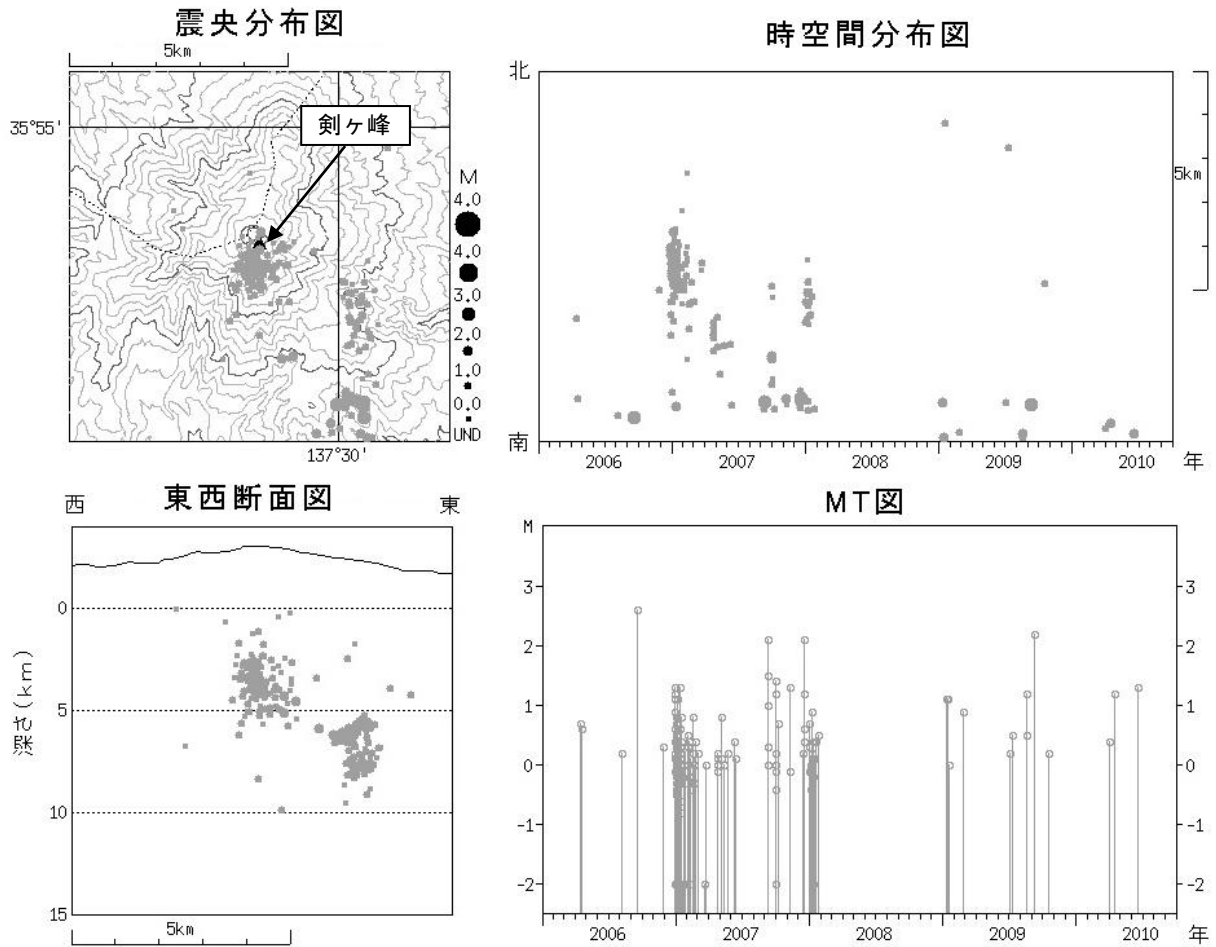


図 4※ 御嶽山 震源分布図 (2006 年 1 月 1 日～2010 年 9 月 30 日)

● : 2006 年 1 月 1 日～2010 年 8 月 31 日

● : 2010 年 9 月 1 日～9 月 30 日

M (マグニチュード) は地震の規模を表します。図中の震源要素は一部暫定値で、後日変更することがあります。

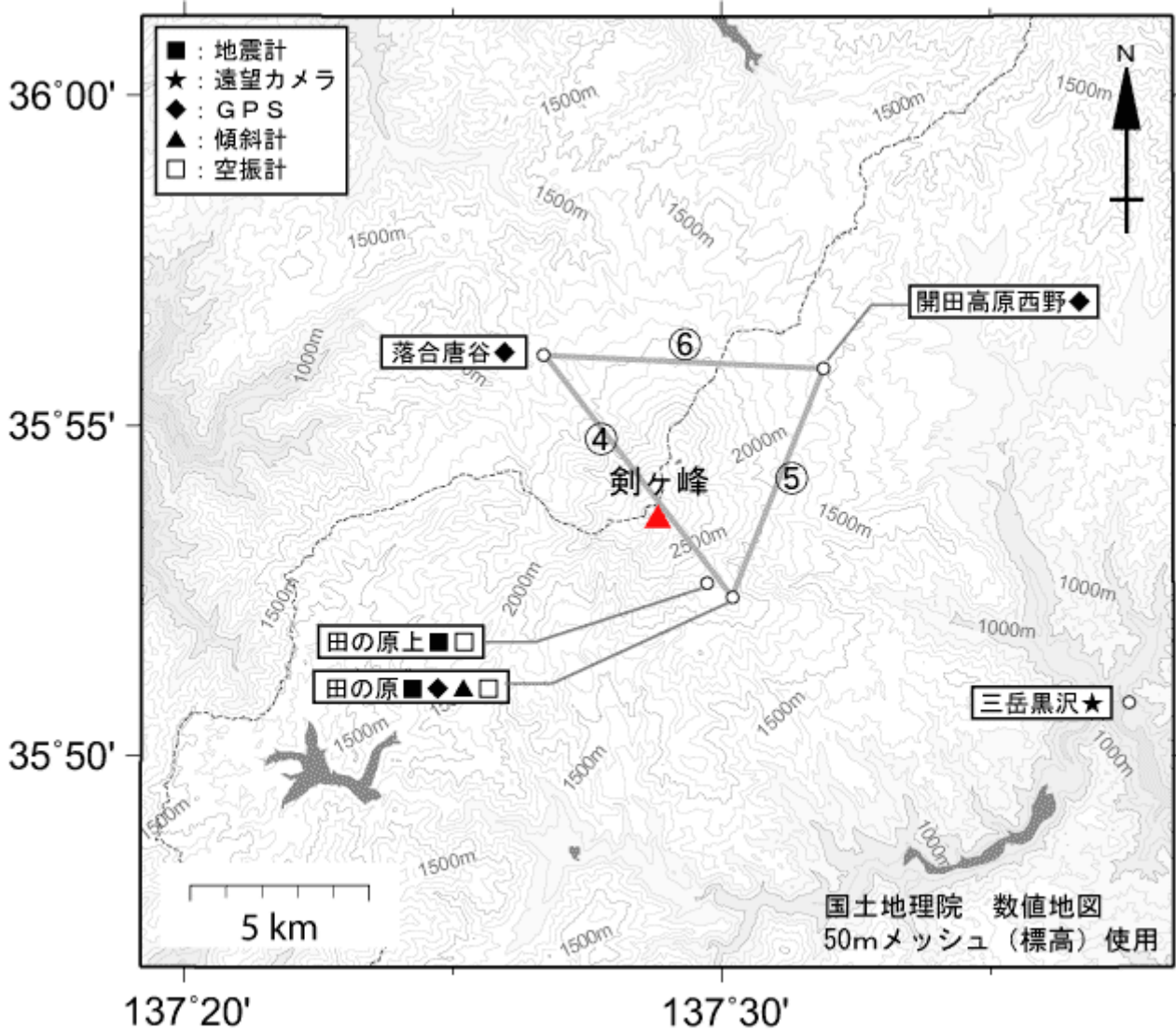


図5 御嶽山 気象庁の観測点配置図（小さな白丸は観測点位置を示しています）

図中の GPS 基線④～⑥は図3※の④～⑥に対応しています。

運用開始前の観測点も含みます。